土居寛之（どいひろゆき）　フランス文学者。大正二年十二月十七日東京生れ（一九一三―）。昭和十四年東京帝国大学文学部仏文科卒。外務省華務官等を経て埼玉大学助教授。

訳書に、ナオルテエナ・ストロフスキー著『佛蘭西モラリスト』（森有正共訳、昭和十七年九月）、二十日弘文堂書房「世界文庫」）、アンリ・ナレデリック・アミエルの日記抄―人生と藝術について』（昭和二十二年一月五日神奈川・創藝社「人生論叢書」）、セナンクール著『永遠と人生について―オーベルマン抄』（昭和二十四年十一月五日三笠社）、『アミエルの日記（シェレル版）』全二冊（上巻・昭和二十五年一月一日、下巻・三月一日創藝社）、ストロウスキー著『フランスの智慧』（森有正共訳、昭和二十六年七月二十五日岩波書店「岩波現代叢書」）等。著書『サント・ブーヴ』（昭和二十三年十月十日世界評論社「世界文学ほんどぶっく」）等。